

計画の名称	大阪府内における安心・安全で快適に暮らせる駅前市街地の整備と賑わい創出のまちづくり（第3期）											
計画の期間	令和04年度～令和08年度（5年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	大阪府、枚方市、門真市											
計画の目標	防災上危険な密集市街地や公共施設が不足している市街地等において、市街地再開発事業等により、建築物の不燃化、公共施設整備の促進、交通結節点機能の強化等を行うことで、安心・安全で快適に暮らせる駅前市街地の形成や多様な都市機能の集積を図り、賑わいを創出し市街地の活性化を推進する。 また、大阪の中核を担う都心部周辺や郊外部において、市街地再開発事業等により、老朽化・陳腐化した建築物等の更新期を迎えた都市ストックの更新、駅前再整備による交通結節点の機能強化、中心市街地の活性化等を行うことで、多様な都市機能を備えたエリアを形成し、エリア全体の価値の向上を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	18,651	A	18,651	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R2当初	中間目標値	最終目標値 R11末
1	事業施行区域内における、防災機能の向上 光善寺駅西地区 事業施行区域内における不燃化率の改善 防災機能の向上 不燃化率 = (耐火建築物の建築面積 + 準耐火建築物の面積 × 0.8) ÷ (全建物の建築面積) × 100 (%)	0%	%	100%
2	事業施行区域内における、交通結節点機能の強化による来街者数の増加 光善寺駅西地区 京阪本線光善寺駅 乗降者数 21,799人/日（令和元年度統計値） 駅前広場等利用者（非鉄道利用者数）= 鉄道乗降客数 × 1.5（郊外一般駅） = 21,799人/日 × 1.5 = 32,698人/日 交通工学実務双書より引用	21799人/日	人/日	32698人/日
3	事業施行区域内における、定住促進及び賑わいの創出（コンパクトプラスネットワークの推進） 光善寺駅西地区 整備前の定住者数 世帯数 17、定住人口 17人（賃貸マンション、現況調査より） 整備後の定住者数 整備戸数 205戸（ファミリータイプ：191戸、ディングス・高齢者タイプ：14戸） 191戸 × 2.9人/戸（H29国交省データより）14戸 × 2人/戸 = 581.9人	17人	人	581人
4	事業施行区域内における、交通結節点機能の強化におけるバス停までの所要時間の短縮 光善寺駅西地区 アクセス道等の整備（都市計画道路北中振線（駅前広場含む））により国道1号から光善寺駅バス停までの所要時間（徒歩）を37%短縮する。 短縮率 = (事業前所要時間 - 事業後所要時間) / 事業前所要時間 × 100	0%	%	37%
5	事業施行区域内における、防災機能の向上 門真市駅前地区 事業施行区域内の老朽建築物の解消率 防災機能の向上 老朽建築物解消率 = 耐用年限の2/3を経過していない建築面積 / 区域内の全建築面積	0%	%	100%

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

計画の成果目標（定量的指標）				
番号	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初		R11末
6	事業施行区域周辺における、定住意向の向上 門真市駅前地区			
	事業施行区域周辺（門真市北西地域）に居住する市民の定住意向の割合	55%	%	65%
	市民意識調査にて、門真市北西地域の市民が「住み続けたい」と回答する割合			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
・枚方市都市計画マスタープランに基づき実施される要素事業：A13 - 001、A13 - 002、A01 - 003、A13 - 004       ・枚方市立地適正化計画に基づき実施される要素事業：A13 - 001、A13 - 002、A13 - 004														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	大阪府	間接	光善寺駅西 地区市街地 再開発組合	-	-	光善寺駅西地区第一種市 街地再開発事業	商業、住宅 1.4ha	枚方市						1,403	1.40	-
	A13-002	市街地	一般	枚方市	間接	光善寺駅西 地区市街地 再開発組合	-	-	光善寺駅西地区第一種市 街地再開発事業	商業、住宅 1.4ha	枚方市						2,351	1.40	-
											小計						3,754		
道路事業	A01-003	街路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村 道	改築	光善寺駅西地区関連街路 整備事業	街路(W=17m)及び駅前広場 等(無電柱化含む)	枚方市						3,837	1.40	-
											小計						3,837		
市街地整備事業	A13-004	市街地	一般	枚方市	間接	光善寺駅西 地区市街地 再開発組合	-	-	防災・省エネまちづくり 緊急促進事業(光善寺駅 西地区第一種市街地再開 発事業)	施設建築物(商業、住宅)	枚方市						5,923		-
	当該事業(A13-004)の全体事業費は、A13-001,002の全体事業費のうち共同施設整備費等の事業者(組合)が負担する費用を含む。																		

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-005	市街地	一般	門真市	間接	門真市駅前 地区市街地 再開発組合	-	-	門真市駅前地区第一種市 街地再開発事業	商業、業務、住宅棟 a	約2.0h	門真市					2,592	1.03	-
	A13-006	市街地	一般	大阪府	間接	門真市駅前 地区市街地 再開発組合	-	-	門真市駅前地区第一種市 街地再開発事業	商業、業務、住宅棟 a	約2.0h	門真市					2,545	1.03	-
												小計					11,060		
												合計					18,651		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05	R06		
配分額 (a)	1,386	836	0		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	1,386	836	0		
前年度からの繰越額 (d)	0	25	0		
支払済額 (e)	1,361	792	0		
翌年度繰越額 (f)	25	69	0		
うち未契約繰越額(g)	3	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0.21	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

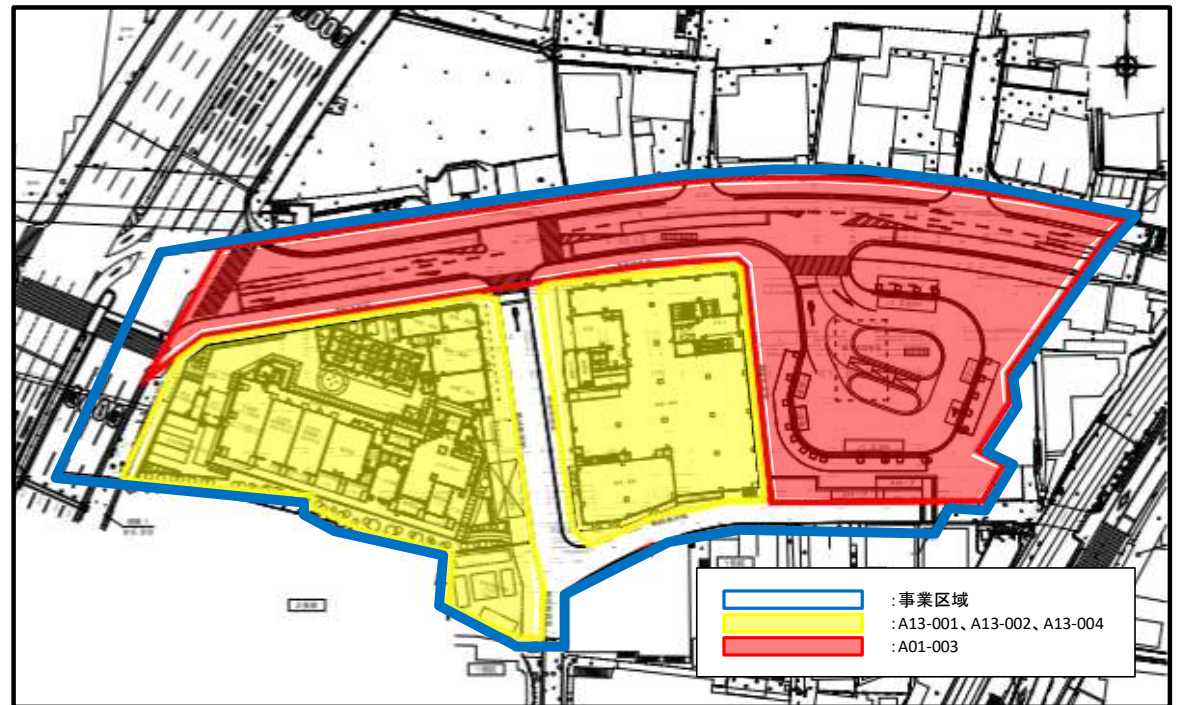
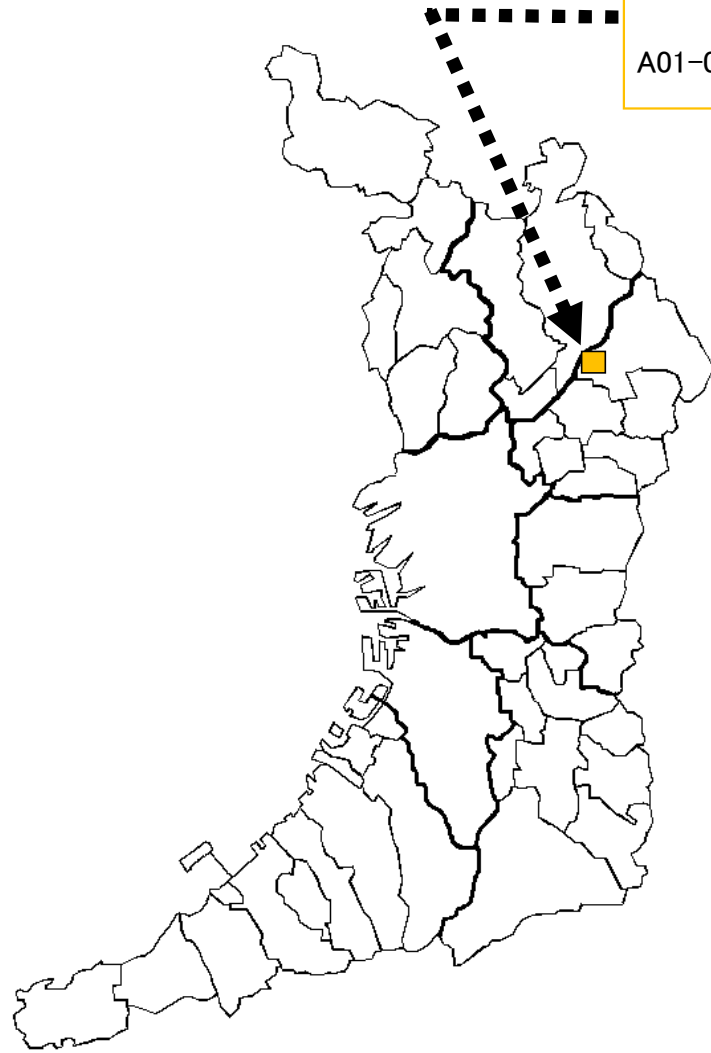
参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	大阪府内における安心・安全で快適に暮らせる駅前市街地の整備と賑わい創出のまちづくり（第3期）		
計画の期間	令和4年度～令和8年度（5年間）	交付団体	大阪府、枚方市

A13-001、002 光善寺駅西地区第一種市街地再開発事業

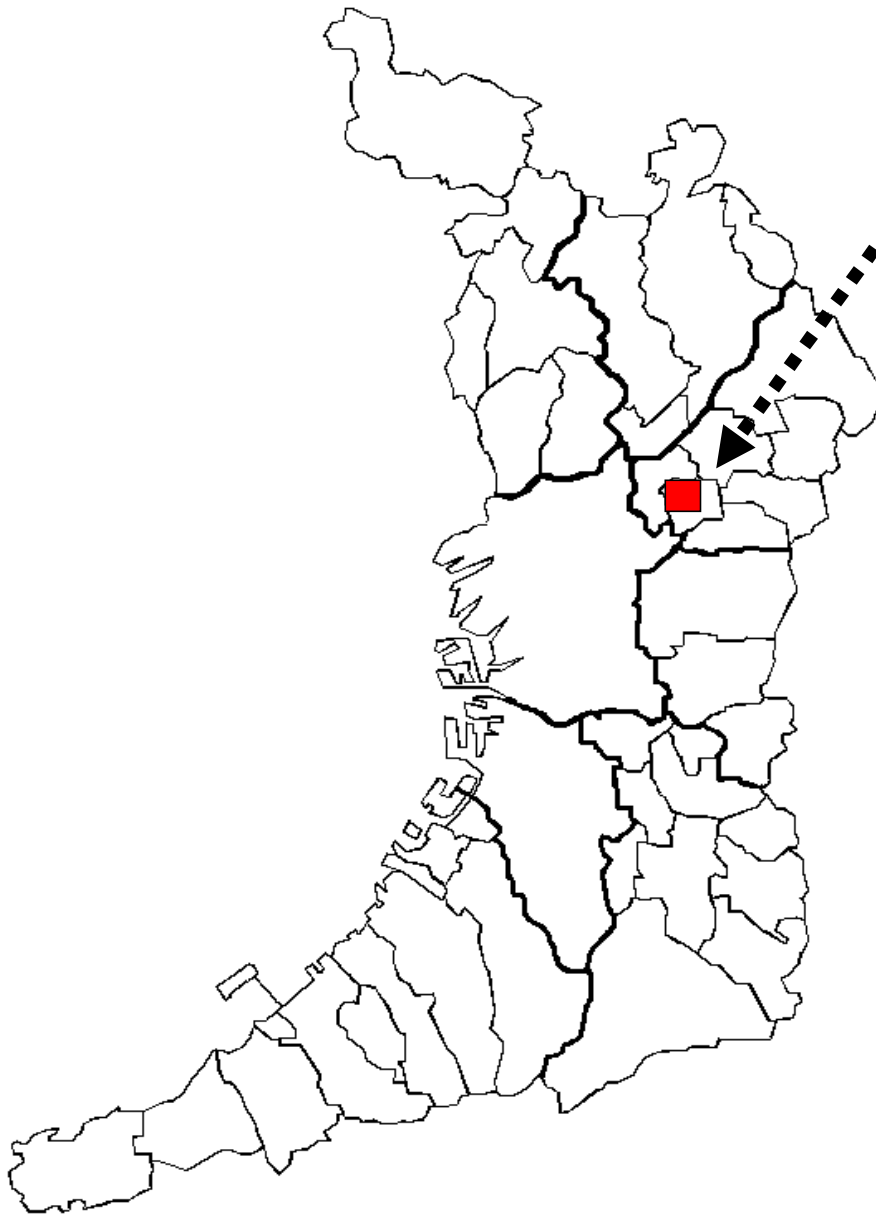
A13-004 防災・省エネまちづくり緊急促進事業（光善寺駅西地区第一種市街地再開発事業）

A01-003 光善寺駅西地区関連街路整備事業



参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	大阪府内における安心・安全で快適に暮らせる駅前市街地の整備と賑わい創出のまちづくり (第3期)		
計画の期間	令和4年度 ~ 令和8年度 (5年間)	交付団体	大阪府、門真市



A13-005、006 門真市駅前地区第一種市街地再開発事業



## 事前評価チェックシート

計画の名称： 大阪府内における安心・安全で快適に暮らせる駅前市街地の整備と賑わい創出のまちづくり（第3期）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上記計画等の整合等 1) まちづくりの目標が基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上記計画等の整合等 2) 上位計画等との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標を設定している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置付けが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 計画の目標と・指標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 目標及び事業内容と事業区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 地域資源の活用やハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画が事業実施機関内に完了する。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）実施する予定である。	○